



編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市瀬郷 1003
TEL0466-48-4500

Index

- ふれあい動物園へ行きました…………… P1
- 藤沢アートフェスティバル…………… P2
- せせらぎ会・家族部会…………… P3
- 行事予定・編集後記…………… P4

点字グループ ふれあい動物園へ 行ってきました

アクティビティ活動での点字グループは、視覚障がい者でつくるプログラムです。肌で感じる季節の移り変わりや日々思うことを詩にしたり、又その詩からイメージした絵を指で描いて作品に仕上げたりします。作った詩や季節の歌を点字で打つ練習もしています。天気の良い日には散歩に出て、感性を磨いたりもしています。

そして年に一度、社会見学として外出もします。いつもは職員が行き先を提案していますが、今回はメンバーの三浦さんから「動物に触りたい。抱っこしたい！」とのリクエストがあったので、平塚のふれあい動物園に行くことにしました。

5月11日(土)当日は初夏を思わせる晴天に恵まれ、絶好のお出かけ日和、新緑がとてもきれいな5月の動物園はたくさんの家族連れ

で賑わっていました。4名のメンバーは早速小さな兎やハムスターを抱っこしたいと、ゲージに囲まれた「ふれあいコーナー」エリアへと向かいました。兎を膝の上ののせて、柔らかい毛並みをそとなでると小さな鼓動と優しい体温を感じました。腕の下へ下へと潜り込もうとするモルモットには、くすぐたいやらかわいいやら、思わず笑みがこぼれます。小さなひよこは手のひらから落ちないように、でも強く握らないように力加減を探りながら包み込みました。小さい、軽い、柔らかい、温かい、小さな命とのふれあいは、皆さん自然と微笑んでしまう優しいひとときとなりました。

いつまでも手に残った感触を忘れたくないとの話題もにぎやかに、楽しい一日を過ごすことができました。



藤沢アートフェスティバル 自分なりの像



5月1日より6日まで行われたふじさわアートフェスティバル「アートの庭」と名打つ野外展示公募展に、佐藤幹雄さんのプログラム陶芸で作成した仏像が出展されました。会場は旧モーガン邸で、庭の各所や並ぶ木立の根本などに作品を並べ、豊かな新緑を背景に一段と鮮明に感じる作品群をゆっくりと散策することができました。佐藤さんの作品は15cmくらいの茶色いろいろな顔をした愛嬌のある仏像10点です。緑の中に並んだ仏像は一昔前の背景を想像させるような懐かしくもある一コマに感じます。

佐藤さんは能面の彫像を10年ほど修練された頃、先生から仏像彫刻を進められたことをきっかけに、様々な仏像を彫ることにチャレンジしてきました。希望の郷に来てから陶芸でも仏像を作ることに頑張っています。「面白い顔だったり、不格好な仏像や時々きれいにできたりしたものでも、大切なのは自分の気持ちをしっかり持って自分なりの仏像を彫れているかどうかだ」と作品への意欲と愛着を語ってくれました。ご覧いただいた方々に佐藤さんの心は届いたでしょうか。



思い出すこと

曾我 和美

私は未熟児で生まれ、退院後も体が弱く、高熱も頻繁に出したりミルクも嘔吐しての毎日が続いていたようで、両親にはたくさん医者通いをさせていたようです。3歳から6歳までは東京小児療育病院へ入院し、ここで「脳性小児マヒ」という診断を受けて、リハビリに専念しました。6歳で退院をして自宅に戻り、7歳になると訪問



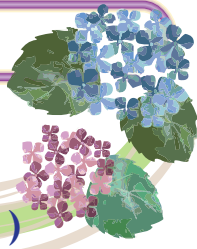
女性教師が来てくださって、楽しみながら勉強することができました。たまたまその先生は母の同級生だったこともあり、大きな安心感の中で2年間を過ごしました。当時は養護学校が少ない事や訪問教師の増員を願う声がTVKでのPRへとつながり、今でいう「こんにちは神奈川

という番組で取り上げられることになり、スタッフの人たちが我が家へ取材に見えました。これはとても良い経験になりました。

9歳になる頃、先生から「和美ちゃんは家にいるより学校で友達に囲まれていた方が楽しく勉強ができるのでは」という話をいただき、2年遅れで平塚養護学校1年生になりました。学校もその頃はまだエレベーターも無く、2階の教室へ車いすの人は壁の手すりをつかまってスロープを移動するようでした。スロープの端に杖を使う人用の両側に手すりのある所が有り、私も掴まって自力で立てるのでは?と思い、即実行してみました。やってみたら、難なく、軽々と出来たのでとても嬉しくなって、すぐ担任の先生に報告をして、「よく考えて、よく出来たね!」と褒めていただきました。帰宅後も両親に報告をするとたくさん褒めてくれて、涙を流して喜んでくれました。それからもちろん階段の上り下りは毎日頑張りました。周りのたくさんの方に優しく接していただきながら学校生活は大変充実していたと思います。今でも時々思い出すことばかりです。

せせらぎ会だより

令和元年六月(水無月)



湘南希望の郷は開所33周年の佳節を迎えました。1986年6月。開所当時を知る人の話によると、施設前を走る道路は、田園風景に溶け込んだ素朴な道で、梅雨時の雨上がりの日には、大小の水溜まりに、夏空と緑したたる景色が映し出される、それはそれは長閑な一本道だったと云うことです。

顧みれば、1980年代、国連の国際障害者年のキャンペーンを皮切りに、世はノーマライゼーション運動や、各方面の障害者有志による自立生活運動が拡がり始めた黎明期でした。ハンセン病隔離政策や収容型施設での人権問題が声高に叫ばれる中、旧態依然としていた身体障害者療護施設

に於いても、湘南希望の郷は、高邁な理念を掲げ革新的な情熱で社会に風穴を開け、塀の無い地域に開かれたリベラルな施設づくりの先鞭をつけて、その啓蒙に全国を奔走して来た足跡は、法人の履歴に詳しく刻まれています。昭和・平成・令和と三世代にわたる理想の郷づくりは、変遷する時代の波に打たれながらも、その理念と熱情は今も引き継がれています。

さて、五月の光友会事業推進協議会総会の席上。2019年度、光友会の新規事業計画が公表されました。重度身体障害者を対称にした新たな取り組み、(仮)日中支援型グループホームの運営である。今までに無かった、既存のグループホームでは対応困難な障害者にとっては生活の選択肢が増える福音である。奇しくも、湘南希望の郷が最終形態として、標榜してきた少人数施設への分舎化を具体化する形のグループホームができる事に感慨深いものがあります。

今年も又、めぐり来る季節の中で、周辺の圃の田植えが始まりました。 文責.自治会(K.I)

湘南希望の郷 家族部会の皆さまへ

家族部会 眞鍋 直規

昨年の梅雨入りは、6月6日。今年も同じ時期になりそうです。同じ場所にいれば、皆同じ季節を迎えます。人間誰しも生物としての時間は同じように過ぎて行くにも拘らず、一部の機能が不自由な多くの方は、何かをやろうとしたとき、いろいろな作業に多くの時間を費やし、不自由でない人と同じ時間ではできません。人との関係作りでも時間が掛かります。今回のように、直接面倒を見て下さっていた多くの職員の人事異動は、利用者も新しい職員に慣れるのに時間が掛かっています。こんな時こそ、家族のフォローが求められるのではないのでしょうか。新しい職員と家族とのコミュニケーションも大事になってきます。うまく行かなかったことは繰り返さないように、うまく行ったことはみんなで取り入れられるように、それぞれの家族間での情報交換も大事です。8月末のふくし村まつりの準備が始まります。光友会のイベントに協力しながら、情報交換も積極的にして行きませんか。

<6月・7月行事予定>

◆6月25日(火) 10:30～12:00 郷づくり委員会 かわうそ2階

◇7月1日(月) 10:30～12:00 家族部会定例会(2) 湘南希望の郷2階会議室 ふくし村まつりでの模擬店準備



神奈川県障害者スポーツ大会陸上競技会 に参加しました



4月28日柳島スポーツ総合公園にての障害者スポーツ大会陸上競技会に参加しました
パーン！甲高いピストルの響きと共に50m・100mの車椅子走の競技がスタート！

「頑張れ、頑張れ」の声援を受けながら、手だけで必死に車椅子のハンドリムを回す選手の皆さん。途中で息切れする方、マイペースで走る方、コースからはみ出してしまう方等、走り方は様々…。ゴール後、「疲れた～」「もうダメ

だ～」「手が棒の様だよ」と大きく肩で息をしながらも皆さん頑張りました。

一方、「えいっ」「やあっ」の掛け声が響き渡り、ビーンバック投げ、ソフトボール投げの競技もたけなわです。付き添い職員の「集中、集中」の声援を受けながら、「あ～ダメだ～」「よし、うまくいった」等、思いを込めた一投一投に一喜一憂します。

表彰式では、首に掛かったメダルを手に、はにかみながらも表情は皆自信にあふれていました。帰りの車中でも「次はもっとメダルを取れる様に練習したい」とすでに気持ちは来年に向けられていました。9名の参加者が取った総メダル獲得数は、金メダルが10個、銀メダルが4個という素晴らしい結果に！選手の皆さん、お疲れ様でした。ボランティアの皆様、ありがとうございました。

◆6月の予定◆



健康課より

藤沢病院 石井Dr.来診

6日(木)

厚誠会歯科検診

7日(火) 11日(火)
18日(火) 25日(火)

御所見病院 安田Dr.来診

12日(水) 26日(水)

行事

ローリングバレー体育館練習

22日(土)

住人生活会議

25日(火)

家族懇談会

5月18日(土)家族懇談会が行われました。今回は新しく開所予定のグループホームの説明がされることもあって、会場には、家族、入居者、職員合わせて50名程の方が参加くださいました。質問等も飛び交い、終始活発な懇談会となりました。



事務管理部からも文化祭時に写真展を企画していて希望の郷の日常の写真の展示をしていく旨の話がありました。



令和元年5月4日(土)御即位一般参賀に行ってきました。新天皇になってから初めての国民に直接語りかけられるということもあり、141,130人もの方が集まりました。

私も日本に生まれたから一度は皇室の方々をお目にしたいと思い、朝から並び約4時間程待ち、皇室の方々にお会いすることが出来ました。生で拝見した感想はただ一言「すごく綺麗」です！！(M.I)



花火大会 ボランティア募集

恒例となりました花火大会が8月3日(土)に湘南希望の郷にて行われます。当日参加される入居者さんのお手伝いをしていただける方を募集しています。

連絡先 0466-48-4500 担当 大久保・北村